

## こんな感じで予習を試してみたらどうだろう。安城南中学校新2年生の数学の挑戦②

5/11 (月)	数友 P2～P3 (1年生のまとめ) ①絶対値の意味、不等号の意味、正・負の数の計算、式の値の求め方、等式・不等式の表し方、文字式の計算、方程式・比例式の解き方、を理解しよう。 ②図形の単元のキーワードを理解しよう。おうぎ形に関わる計算を理解しよう。 【アドバイス】 1年生の教科書で該当ページを探し、例題を読みながら解き方を考えよう。
5/12 (火)	数友 P4～P5 (1年生のまとめ) ①立体の展開図、投影図のキーワードを理解しよう。球の表面積・体積の求め方を理解しよう。 ②座標、比例と反比例の式・グラフ、関数の文章題を理解しよう。 ③資料の活用を理解しよう。※②の近似値はできなくてもよいです。 【アドバイス】 ①球や立体に関わる公式を確実に使えるように練習しよう。 ②比例と反比例の一般式を確実に覚えて、代入することを意識しましょう。 ③1年生の教科書で該当ページを探し、例題を読みながら解き方を考えよう。
5/13 (水)	数友 P6～P7 (式の加法、減法①) ①「単項式と多項式」、「項に分けること」、「係数」、「次数」、「何次式か」について理解しよう。 【アドバイス】 ①「+」や「-」の前で区切ると項に分けやすいですよ。 ②「係数」は文字の前の数字。符号「-」をつけ忘れないように。 ③「次数」は、かけられている文字の数のこと。「何次式か」というのは、その式に含まれている項で、最大次数のものから判断する。
5/14 (木)	数友 P8～P9 (式の加法、減法②) ①「同類項にまとめること」「式をたすこと、ひくこと」を理解しよう。 【アドバイス】 ①項に分けてから「xのついているもの」「yのついているもの」などで分けるとよい。ただし、「x」と「x <sup>2</sup> 」は、別の文字と考える。 ②式と式をたしたり、ひいたりする場合は、「(○+□)+(○-□)」や「(○+□)-(○-□)」のように( )をつけてから計算する。
5/15 (金)	数友 P10～P11 (いろいろな多項式の計算①) ①「数×多項式」や「多項式÷数」を理解しよう。(分配法則) 【アドバイス】 ①1年生のときにやった、かっこのはずし方を思い出そう。
5/18 (月)	数友 P12～P13 (いろいろな多項式の計算②) ①かっこをはずしてから、同類項にまとめる方法を理解しよう。 ②式の値について理解しよう。

	<p>【アドバイス】</p> <p>①ていねいにかっこをはずして、同類項にまとめましょう。</p> <p>②まずは、もとの式を同類項にまとめて、それから、文字の値を代入しよう。</p>
5/19 (火)	<p>数友 P14～P15 (いろいろな多項式の計算①)</p> <p>①単項式の乗除を理解しよう。</p> <p>【アドバイス】</p> <p>①×を省く。÷は分数の形にする。数は文字のまえにつける。同じ文字をかけるときは指数の形で表す。など、1年生で習った「文字式の表し方のルール」を思い出そう。</p>
5/20 (水)	<p>数友 P16～P17 (いろいろな多項式の計算②)</p> <p>①分数を含む式の除法を理解しよう。</p> <p>【アドバイス】</p> <p>①分数のわり算は、逆数にしてかければよい。例：<math>\div \frac{3}{4}x \rightarrow \div \frac{3x}{4} \rightarrow \times \frac{4}{3x}</math></p>
5/21 (木)	<p>数友 P18～P19 (文字式の利用)</p> <p>①問題の文章を読んで、式で表現できるようにしよう。</p> <p>②等式の変形ができるようにしよう。</p> <p>【アドバイス】</p> <p>①文字を使って、式に表してみよう。その前に、具体的な数で予測してみることもヒントになるかもしれません。</p> <p>②1年生に習った「移行」を利用しましょう。移行するときは符号(+, -)を変えることを忘れずに。</p>
5/22 (金)	<p>数友 P20～P21 (章末問題 A)</p> <p>①式の計算の単元の基礎力を高めよう。</p> <p>【アドバイス】</p> <p>①困ったときは、教科書の該当ページで確認しよう。</p>
5/25 (月)	<p>数友 P22～P23 (章末問題 B)</p> <p>①式の計算の単元の応用力を高めよう。</p> <p>【アドバイス】</p> <p>①困ったときは、教科書の該当ページで確認しよう。</p>

※まずは、自分で調べて解いてみるということが大事です。

基本的には教科書に解き方が書いてあります。

記憶の残りやすさは、基本的に「自分で調べたこと>聞いたこと」です。

でも、困ったときには、周りの人に聞いてみましょう。(今のご時世、難しいですが。。)

いろいろな物の考え方を知ることで、自分にじっくりくる考え方と出会えるかもしれませんから。

早くみんなで学習したいですね。でも、「一人で調べる」という力を育てる機会ととらえて、

今できることをがんばってみましょう。